# 目

## 論 文 編

#### 〔研究論文〕

多様なニーズに対応可能な日本語教員養成プログラムの開発 シミュレーションによる態度変容可能性の検討 池 田 伸 子	1
ある翻訳者が自立に至る径路 ――移動して学ぶ時代の日本語教育への示唆―― 丸山千歌・小澤伊久美	19
メール文の自動評価に向けて――メール作成タスクの検討―― 金 庭 久美子	37
大学生同士の初対面雑談会話で用いられる文末表現としての「みたいな」 スピーチレベルとの関係に注目して	55
接触場面と母語場面における母語話者のくり返しの方法  一日常的な接触経験と対話相手の日本語レベルの観点から	600
	69
〔実践報告〕	
多様なレベルの学習者を対象とした漢字クラスの開発	85
内容を重視した日本語演習3の試み	
学習者の読みに対する意識の変化を中心に www. 数野恵理・嶋原耕一	93
〔調査報告〕	
日本語教科書における指示詞 ― 立教大学日本語教科書の分析 ―	
	105
中級レポート授業における現状と課題についての調査報告	
──留学生の日本語レポートの課題を通じて見えること ── 長谷川 孝 子	123
学習者・教師双方から見た「理解が深まる日本語の授業」とは	
── 自由記述データによる共通点・相違点から ──	
	139

### 活動報告編

#### 〔活動報告〕

2017 年度日本語教育センター運営体制	153
活動報告目次	154
教育研究業績一覧	155
執筆者一覧	159
投稿規定	160
執筆要領	162